

こんちわ新聞

発行日 2021/10/27

第 3338 号

発行元 慶應義塾労働組合四谷支部

Mail k-yotsuya@keio-union.or.jp

医学部内第二校舎 1F 内線：62020

11月5日から秋闘が始まります。職員・病院問題については17日(水)19:00からZOOMで交渉が行われます。大勢の方の参加をお願いします。

秋闘団交日程

1回目団交：11月5日(金) 全体+各職種

2回目団交：11月11日(木) 教員問題

3回目団交：11月17日(水) 職員・病院問題

4回目団交：11月25日(木) 全体+各職種

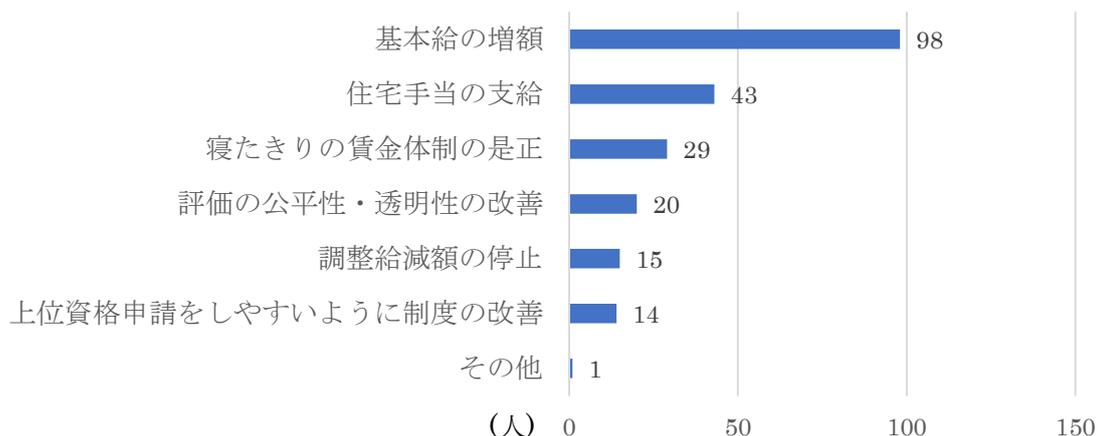
皆様のご参加を
お待ちしております!



職員要求項目とその要旨

- 基本給の増額 基本給の給与表は30代半ばから頭打ちとなり大幅に賃金が減っている。生活が苦しくなっている。
- 住宅補助手当の支給 職場から近い所に住みたいが家賃が高くて困難。住宅補助手当の支給を要求している。
- 人事給与制度の見直し 試験を受ける職員の数は増えておらず、合格率を見ても職員が意欲を持って働ける制度に。
- M・Nスタッフの育児時短勤務をGスタッフと同じにする 当面は子が5歳までとする制度をいつから開始できるのか提示することを求めている。同じ慶応で働く職員で制度の運用に違いがあってはならない。

2021年春闘アンケートより信濃町職員の要求





住宅手当が欲しい！



私事ですが、現在住まい探しをしています。職場へのアクセスの良さを考えて、総武線沿線もしくは新宿区や中野区周辺で探していますが、それがまあ良い物件がなかなか見つからないのです。ここでポイントなのはやはり家賃ですね。信濃町へアクセスの良いエリアは、大抵地価が高いです。条件の良い物件を選ぼうとすると、毎月払う家賃代が高すぎて、購入するのと大差ないため、高い家賃を払うことが大変バカバカしく思えてしまうのです。

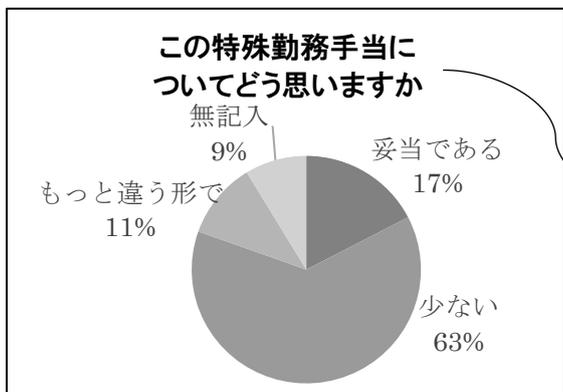
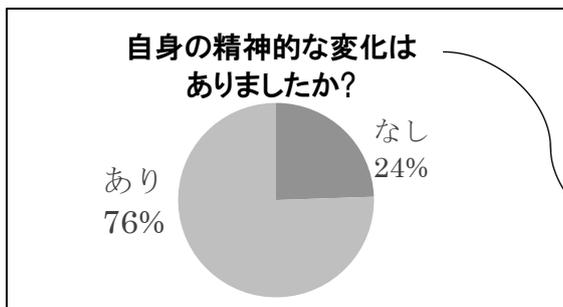
それでは職場へのアクセス面を譲歩したら良いのではないかと、そんなことを言われてしまいますが、夜勤をやっているとどうしても信濃町近辺に住む他ないのです。なぜなら終電がなくなってしまうから。

タクシーで帰ったら良いじゃないかとんでもない。タクシー代を請求している職員を見たことがない。そもそも請求方法を知っている人が一体どのくらいいるというのでしょうか。

結論を言うと、信濃町近辺に住むためにはお金が必要だ、だから住宅手当を出して欲しい。

こんなにも職場近辺に住む必要性のある仕事にありながら、なぜ住宅手当が支払われないのか疑問に思うほどです。基本給に含まれていると言われても、全然わかりません！！（ペンネーム吟さん）

◆コロナ陽性患者に直接関わる方へのアンケートを実施し多くの貴重な回答を得ることができました。回答をまとめ秋闘の中で交渉していきます。



1、スクラブの交換について

以前よりは充足していますが不足していると回答した方が51%います。休日などは不足したり、男性用がないなど意見が出ました。

2、自身の精神的変化について

多くの看護師が不安と緊張の中で働いていることがわかります。

- ・身体的疲労が出ている、やる気も活力もわかない
- ・夜間の中途覚醒 ・不眠、易疲労感
- ・プライベートも制限され続け、その上休暇も消化されずもう限界である

3、手当に関する意見

- ・他病院の看護師は1日5000円もらっている。コロナ対応をしているのに割にあっていない。
- ・今までの分も遡って支給してほしい。

★コロナに関する秋闘での組合の主な要求

- ・新型コロナ陽性患者に直接接した職員に対して、東京都支援事業の補助に相当する一勤務あたりの額を手当として支給すること。また遡って支給すること。
- ・勤務終了後利用できるシャワー職場の近くに設置すること。また、タオル・ドライヤーなどの備品を設置すること。
- ・希望する職員に対しPCR検査を行うこと。
- ・コロナワクチン接種後の副反応での休みは特別休暇とすること。
- ・スクラブは必要時交換できるように定数を増やすこと。